

(別紙4)

# 評価結果報告書

事業所番号	2970102618
法人名	メディカル・ケア・サービス
事業所名	愛の家グループホーム 大和西大寺
訪問調査日	平成 19 年 10 月 30 日
評価確定日	平成 19 年 11 月 22 日
評価機関名	特定非営利活動法人カロア

## 外部評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

### 記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけています。

「取り組みを期待したい内容」欄は、「取り組みを期待したい項目」でつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 項目番号について

外部評価項目は30項目です。

「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。

「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

平成 19 年 10 月 30 日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102618
法人名	メディカル・ケア・サービス
事業所名	愛の家グループホーム 大和西大寺
所在地	奈良県 奈良市菅原町184-1 (電話) 0742(52)6530

評価機関名	特定非営利活動法人カロア		
所在地	大阪市大阪市天王寺区堀越町1番1号四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成19年10月30日	評価確定日	平成19年11月22日

【情報提供票より】(平成19年 10 月 13 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 5 月 1 日						
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人				
職員数	13 人	常勤	12 人	非常勤	1 人	常勤換算	11.1 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	77,000 円	その他の経費(月額)	0 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 ( 10 月 13 日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85 歳	最低	71 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東生駒病院・奈良公園中央病院 往診：阿部クリニック
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅街の中にあり、最寄の近鉄西大寺駅から徒歩10分、近くには幹線道路もあり交通の便がよく家族の来訪しやすい環境に建てられています。近隣には、ショッピングセンターや季節感じさせる花畑、観光の名所やドライブコースもあり、外出支援のしやすい環境にあります。職員の表情が明るく、利用者はゆったりとした生活の中で、穏やかに過ごされています。地域の人々と共同で、作品作りや催しを開催されたり、近隣の幼稚園の誕生会に行かれたりと、地域の人々との触れ合いを大切にされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目：外部4) 前回の改善課題のうち、家庭的な雰囲気を出すように馴染みのもの、懐かしむものを増やすこと、来訪しにくい家族への意見の引き出しについては改善されていますが、各階の入り口や玄関の施錠については、改めて課題として工夫を重ねていかれるように期待します。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目：外部4) 職員の声を聞きながら、ホーム全体で自己評価の作成に取り組まれていましたが、評価の意義や目的については職員の認識が不十分な点を感じました。今後は、評価の意義や目的を全職員が再度理解し、サービスの質向上に向けて取り組まれることを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目：外部4,5,6) ホームの現状報告はされていますが、意見を引き出し取り組みにつなげていくまでには、まだ至っていません。包括支援センターや市の職員の参加も見られません。今後は積極的に参加促して、関係作りを行い、課題解決に向けて実のある会議を開催されるように期待します。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目：外部7,8) 苦情受付ポストを設置されています。今後は、家族会等気軽に言える機会を作り、運営に反映させることも期待します。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目：外部3) 地域の人々に夏祭りに招待し、共同でのおやつや作品作りなどをして、触れ合いを大切にされています。

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

外部評価	自己評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
<b>．理念に基づく運営</b>					
<b>1．理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の人々とふれあいを大切にします」という理念をつくりあげられ、地域社会に触れる機会を大切にされています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々意識して実践できるように、毎朝の朝礼で、復唱し共有化への取り組みがされています。		
<b>2．地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の人々を、夏祭りに招待して、共同で手作りのおやつや作品などを作ったり、近隣の幼稚園の誕生会に参加したりと地域の人々との交流に努められています。		
<b>3．理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をするにあたって、職員の声を聞きながら、ホーム全体で取り組まれています。が、職員に外部評価の意義や目的が十分に伝わっていません。		評価の意義を理解し、サービス向上につながるような積極的な取り組みを期待します。

外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待 したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に自治会、家族、利用者などで運営推進会議が開催され、ホームの現状報告をされていますが、意見を引き出し取り組みにつなげていくまでには至っていません。</p>		<p>今後は意見や要望などを受けられるような取り組みを期待します。外部評価の結果報告を行う等、課題解決に向けて具体的で実のある会議を開催されるよう期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>随時、相談や現状の報告が行われていますが、サービスの向上に連携して取り組むまでには至っていません。</p>		<p>運営推進会議に出席してもらうように働きかけはされていますが、参加できていない状況です。日常的にホームの様子などを報告し、関係づくりを積極的に行うことを期待します。</p>
<p><b>4 . 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「ホームメール」を作成し、写真や活動報告をされています。来訪時に、健康状態など暮らしぶりを伝え、家族の要望など聞かれています。来訪できない家族や海外に住まれる家族へも、定期的に報告されています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付ポストを設置されていますが、苦情を言い出し難いことを理解しての積極的な意見収集には至っていません。</p>		<p>家族会を作ることを計画されています。今後、家族の意見や要望、苦情が気軽に出せる機会を作り、運営に反映させることを期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はできるだけ最小限にして支障のないようにされています。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
<b>5 . 人材の育成と支援</b>					
10	19	<b>職員を育てる取り組み</b>  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の内容をあらかじめ全職員に伝え、興味のある研修へ意欲的に参加できるように配慮されています。外部研修後に報告できる場を作り、職員の質の向上に取り組まれています。		
11	20	<b>同業者との交流を通じた向上</b>  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同会社内のホームとの連携は充分図れており、管理者の勉強会を行うなど、質の向上に向けて取り組まれています。		近隣のホームと交流も図り、より地域の中で連携し、質の高いサービスを目指してのネットワーク作りに取り組まれることを期待します。
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<b>馴染みながらのサービス利用</b>  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して馴染めるように、本人、家族との話し合いを充分に行うように努めています。居室に馴染みの物を持ち込んでもらい、できるだけ今までの生活環境と変わらないように配慮されています。		
<b>2 . 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<b>本人と共に過ごし支えあう関係</b>  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に支えあう関係を作られています。		

外部 評価	自己 評価	項 目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1．一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常生活の会話の中や家族の来訪時の話の中から、聞きだせるように努められています。</p>		
<p>2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の意向や家族の意見がアセスメントに記録されており、利用者の思いを反映した介護計画書を作成するように努められています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の生活の中で、気になることをスタッフ間で話しし、情報の共有化はできています。</p>		<p>状態の変化に応じての取り組みがされているので、今後は再アセスメントやモニタリングを行い、適正に介護計画に反映できるように取り組まれることを期待します。</p>
<p>3．多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族や本人の意向に配慮され、日常的な外出のほか、通院や外泊等可能な限り柔軟な支援が行われています。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
<b>4 . 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<b>かかりつけ医の受診支援</b>  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援されています。病院に付き添って行ったり、家族やかかりつけ医の話を聞くなど、積極的に診療情報の把握に努めています。		
19	47	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居の段階から本人や家族と話し合いがもたれ、できるだけ早い時期に方針を共有し、重度化・終末期に向けての対応が行われています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 . その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>( 1 ) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<b>プライバシーの確保の徹底</b>  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の自尊心を傷つけないように、言葉かけに配慮されています。トイレの際もさりげない言葉かけが行われています。		
21	52	<b>日々のその人らしい暮らし</b>  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは決められていますが、利用者一人一人の時間を大切にするという意識が感じられ、ゆったりと過ごせるように工夫されています。その時の希望に沿って支援されています。		

外部 評価	自己 評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
( 2 ) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	専用の厨房があり、調理員によって食事が作られています。月に二回お楽しみとして利用者が作る機会を設けています。配膳や後片付けなども利用者、職員が助け合って行われています。		調理をする機会や役割分担をもう少し増やすなど、今後さらに利用者が持てる力の発揮できる場作りや、食を通じて喜びや楽しさ、自信の回復につながるような取り組みに期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯はあらかじめ決められていますが、体調や本人希望に合わせて、夜間の入浴も実施されています。全介助の入浴者へも安全を考慮され、支援されています。		
( 3 ) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の生活歴や趣味を把握し、生活の中で役割や楽しみごとで、力を発揮できるように支援されています。利用者同士で助け合う姿が見られています。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の散歩、買い物、本屋、季節に合わせたドライブなどできるだけ戸外にでかけられるように支援されています。		
( 4 ) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各階の入り口や玄関に日常的に施錠されています。		前回の評価でも取り上げているように、再度全職員で施錠のあり方について検討し、工夫を重ねていかれることを改めて期待します。

外部評価	自己評価	項目 ( 下線数字は重点項目 )	取り組みの事実 ( 実施している内容・実施していない内容 )	印 ( 取り組みを期待したい項目 )	取り組みを期待したい内容 ( すでに取組んでいることも含む )
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災訓練を年二回実施されています。自治会や地域の人々にも訓練への参加を働きかけ、実施されています。又、消防署から消火器の使用方法などの講習を受けています。</p>		
<p>( 5 ) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士が考えた献立で、バランスの取れた食事を提供されています。水分は一日1,000～1,500 c c を目標に努めています。</p>		
<p>2 . その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>( 1 ) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には適度な明るさが保たれており、ゆったりと過ごせるように配慮されています。壁には、利用者の手作り作品が飾られており、季節感あふれる空間となっています。掃除や換気を行い、不快な匂いなどが無い居心地よい空間作りをされています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅を感じさせる使い慣れた家具や洋服がけ、仏壇など馴染みのある生活用品が持ち込まれ、安心して生活できるよう配慮されています。</p>		